

バナナ通信

10月号



発行日：平成20年10月1日
発行：沖縄県NPOプラザ
(県庁4階県民生活課内)
電話：098-866-2187
FAX：098-866-2789
E-mail：aa024007@pref.okinawa.lg.jp
(県民生活課代表)

受講者募集中！

会計講座を11月に行います！

～詳細は本紙P3・県からのお知らせと別紙案内をご覧ください～

<今月号のcontents>

P2 琉球烈団 ライフサポートてだこ

P3 県からのお知らせ 会計税務講座について／事業報告書提出について
地域ぐるみの安全・安心まちづくり推進大会ご案内

P4 もっと資金をGETする！～助成金申請について～

P5 おすすめ本

①知っておきたいNPOのこと（資金編）

②チェンジメーカー

P6 助成金情報 / 編集後記



県内のNPO法人数……340

法人設立認証中の団体…8

(9月 15日 現在)

琉球烈団

県内で活動する猛烈に情熱的・個性的な
NPO法人をご紹介します。



法人名：ライフサポートてだこ 住所：浦添市宮城3-9-18-101 電話:098-875-2557

◎活動内容

ライフサポートてだこは、「ヘルパーステーションりん」と「デイサービスセンターえん」を運営しており、居宅介護、ヘルパー事業、デイサービス事業が主な事業となっています。最近では障がい児の学校送迎の仕事も増えているようで、「人手が足りないんですよ」と代表の松本氏。理由を尋ねると、学校の送迎のためには①児童1人に対し、『運転する人とケアをする人』の2人以上必要であること②スタッフに主婦層が多く学校送迎の時間はスタッフ自身も忙しい時間であり時間調整が大変③学校側で送迎時間に制約がある（〇時〇分でなければ送迎受付をしないときちりと時間が決められている。それより早く着いても遅くついていけない）とのこと。しかし、朝9時のてだこには、そのような大変さを感じさせない明るい、活気ある雰囲気には満ちていました。

◎地域へのこだわり

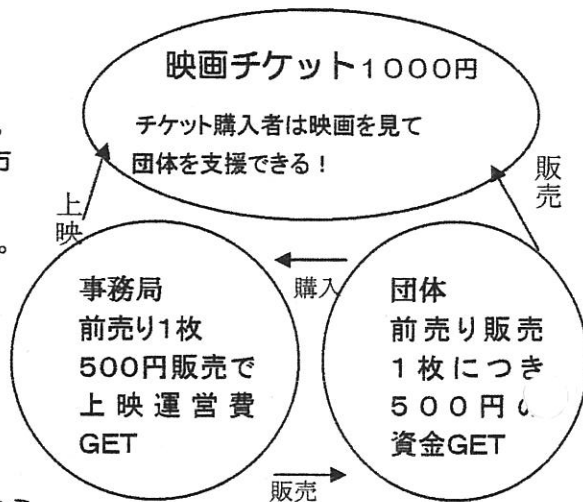
「浦添の人みんなに、子どもからおばあまで自分たちのことを知ってほしい。」と言いつける松本氏。てだこのサービスは、基本的に浦添市の人達のみを対象。これは、海外を放浪した経験から、うらな〜んちゅや地域の素晴らしさを実感したこと、本当に自分の力を発揮し、できることは何か？を考えた時に浦添限定の活動スタイルになったそうです。また、きめ細かい地域へのサービスといった観点も理由のひとつということでした。

利益追求のため、事業活動を拡大させていく企業とは異なり、自分たちの信じる地域（社会）への貢献をマイペースに貫くスタイルはNPO法人ならではのものかと思えます。

◎資金造成を他のNPOと一緒に…好きな映画で実現！

てだこでは本来事業の他に、映画上映による資金造成をしています。（代表の松本氏が映画好きだそうです）以前、てだこ那覇市NPO支援センターが事務局となり、他の福祉系NPOと6団体合同の映画上映会を行い、協力して資金造成をした実績もあります。

このように自分たちの成功した事業のノウハウをオープンにして一緒に事業を行ったり、無償で事業成功について情報提供することにより他のNPOが同様の事業展開をして成功するという事例は多数あります。これは、「自分たちだけではなく、他も成功すれば更によりよい社会になる」というNPOの社会貢献への強い意思や、よりよい社会発展への使命感などがあるからこその展開といえるでしょう。



◎更なる地域発展にむけて

今年は同様のシステムで、10月11日～13日に映画・シンポジウム・講演と盛りだくさんな内容の「うらそえ大好き街づくり地域カUPフェスティバル」開催に向けて準備中というところで、取材時にチラシを頂きました。今回は福祉に限らず、学校のPTAやクラブ等の団体も申込みができるそうで、より密接した地域との関わり・発展の貢献を期待したいと思います。

最後に代表の松本氏からバナナ通信を読まれている団体へのメッセージです：「あきらめず、無理せず、夢に向かって笑顔で楽しくやってみましょう！」

<↑ 保育園と合同でお花植えも実施！>

※ご多忙中、取材に応じて頂きありがとうございました。



11月13日、20日に会計・税務講座を実施します！！

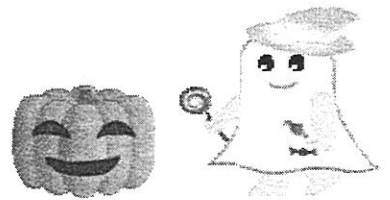
<11月13日（木）に会計講座初級編、20日（木）に税務講座を行います。 >

こんな方に受講をお勧めします！

- ◎初めての事業報告書にむけて、会計処理について知りたい。
- ◎会計担当が辞めてしまい、会計に関する報告書類作成をどうしたらいいのかわからない…。
- ◎もう少し、税務について聴いてみたいのだけれど…

※ 参加ご希望の方は、別紙ご案内にて詳細をご確認の上、

裏面の申込書をFAX又は郵送して頂きますようお願いいたします。



事業報告書の提出について

NPO法人は毎事業年度終了後3ヶ月以内に、所轄庁に対して前事業年度の事業報告書や役員名簿、定款等を提出する義務があります。また、趣旨に賛同された方々への人的資源や資金を集めて行った活動を報告することは、支援してくれる市民への責任でもあります。

NPO法では、法人は積極的に自らに関する情報を公開し、その活動の是非を市民の判断に委ね、その結果市民の信頼を得て、市民によって育てられる、という趣旨でありますので、この点をご理解頂き期限までに提出してください。

☆事業報告書等は所轄庁への提出を怠ると20万円以下の過料に処せられることがあります。

☆3年以上にわたり提出を怠ると、設立の認証を取り消すことがあります。

ちゅらさん運動で安全で安心に暮らせるまちづくりを！！ ～地域ぐるみの安全・安心まちづくり推進大会のご案内～

みなさん、ちゅらさん運動をご存じですか？

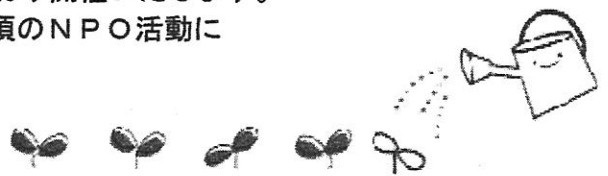
ちゅらさん運動は、「できるときに、できることから」を合い言葉に、行政、事業者、県民が一体となって防犯活動等に取り組むことにより、犯罪がなく、県民、観光客すべての人々が安全で安心して暮らすことのできる沖縄県の実現を目指す運動です。

NPOのみなさんが日々取り組まれている様々な活動の中にも、ちゅらさん運動に関連する活動が数多くあり、安全・安心まちづくりの一役を担っていただいております。

たとえば、地域の道路や公園、住宅地等の草刈りなどの美化活動、スポーツや文化活動などによる青少年の健全育成、地域コミュニティの形成・強化を図る活動なども、地域の防犯に大きく貢献する活動であり、ちゅらさん運動の取り組みの一つです。

この度、ちゅらさん運動をより地域に根ざした運動にするため、第2回「地域ぐるみの安全・安心まちづくり推進大会」を下記のとおり開催いたします。ぜひ、当大会にご参加いただき、ちゅらさん運動の趣旨を日頃のNPO活動に取り入れていただければ幸いです。

と き：平成20年10月11日（土）
と ころ：浦添市てだこホール（小ホール）浦添市民会館となり



もっと資金をGETする! ~ 助成金申請について ~

今年度皆さまのお手伝いをするようになってから半年がすぎました。その間、事業報告書の提出に見えた団体からは「資金不足で活動がなかなか…」といった、ため息まじりの声が何度か聞かれました。そこで、助成金の申請に一步を踏み出せるように、基本的な情報3つをお伝えします。



1 まずは助成金探し!

資金繰りにお悩みの団体に、「助成金申請をしてみてもいいですか?」と尋ねると、「いや、そこまではちょっと…」と、「助成金申請」をととても高いハードルのように感じられ、申請しようというお気持ちにならない団体があるようです。しかし、助成金といっても高額なものや全国規模のものばかりではなく、10万円ぐらいの小規模団体向けや、県内企業によるもの、コピー機などの設備に関する助成申込みなどもあります。以下に主な助成金情報収集ができるHPアドレスをご案内します。まずは、どんな助成金があるのか検索してみてください!

・(財) 助成財団センター アドレス: <http://www.jfc.or.jp/>

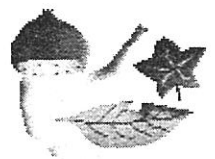
様々な助成金情報が取りまとめられています。特に民間助成金ガイドのページでは、分野別の細かい検索もできて便利です。財団発行の「助成金応募ガイド」は、助成金応募のコツなども記載されており、根強い人気があります。

・NPOWEB (シーズ=市民活動を支える制度をつくる会) アドレス: <http://www.npoweb.jp/>

市民活動を支える制度をつくる会が運営するHPです。助成金情報は助成財団センターほどは掲載されていませんが、常時募集をしている助成一覧が常に見ることができます。また、ファンドレイジングセミナーなどの講座を開催し、NPOに関する様々な情報が満載です。残念ながら、講座は会のある東京開催がほとんどですが、講座内容を見るだけでも、現在のNPOの動きなどがわかり、お勧めです。

・東京ボランティア・市民活動支援センター アドレス: <http://www.tvac.or.jp/>

東京のボランティアセンターです。助成金活用のコツをHPで見ることができます。又、イベント情報で、東京の様々な団体の活動を垣間見ることができます。



※ 当プラザのHPでも助成金情報をUPしています。特に県内限定のものについては、全国規模のHPより早く情報がUPされますので、ぜひ週に1度ぐらいのペースでぜひチェックしてください。アドレスは <http://business4.plala.or.jp/oki-npo/> です。

2 Matching

助成財団からのメッセージをしっかりと読み取り、助成する側の目的・ニーズをしっかりと把握し、自分たちの必要な助成事業と適合することを確認してから申請しましょう。「金額や条件がいいから申請した」ということでは、申請は通りません…!

3 内部と外部でしっかり検討

申請書類を作成するにあたって、団体内部で十分に検討し、申請理由の明確化や内容を吟味・確認し、作成書類のチェックをしましょう。当たり前のような作業ですが、会がマンネリ運営となっていて、文書作成を作業が得意な人ひとりや一部の人にまかせきっていたりすることは、よくあることのようにです。その結果、申請が通ったものの、後になって内容を全員が把握しておらず、「事業ができない」と断るケースは少なくないようです。

内部で十分に検討をして書類作成した後は、信頼できる外部の人に書類をみてもらうこともお勧めです。外部の人が読んでわかりやすく納得のできる申請書か、“独りよがりな申請書類になっていないか”をチェックできます。

**申請準備をすることで、会の結束力が強くなったり、
運営の見直しをするチャンスも生まれます!
まずは申請にチャレンジしてみたいかがでしょうか?!**

今月のオススメ本

NPOに関する本をご紹介します

① 知っておきたいNPOのこと 資金編

編集：発行 日本NPOセンター

全54頁の手のひらサイズでコンパクトな冊子です

内容は「NPOの資金源とは？」

「会費」「寄付金」「助成金」「事業収入」「融資金」と、NPOの資金に関して基本的かつ重要なことが書かれています。

また、単に用語の解説といった内容ではなく、

『団体に適した資金の選び方とは？』

『会費の額はどのように設定するの？』

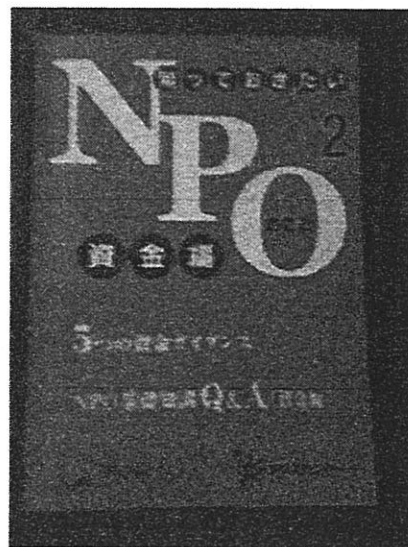
『融資の基本的しくみとは？』

といった運営上ヒントになるような情報が

掲載されています。

一度は目を通して見て頂きたい1冊です。

当プラザで閲覧可能です。



② チェンジメーカー（社会起業家が世の中を変える）

著者：渡邊奈々／日経BP社出版

社会起業家。著書の言葉を借りるなら、お涙頂戴の社会福祉でもなく、自分たちだけが儲かればいいというのではない…そんなポリシーをもつ“社会起業家”達が、社会の中で光があたっていないが重要と思った分野や疑問に取り組み、新たな事業を創造的に立ち上げ成功させた事例を紹介しています。

2005年度初版の本ですが、アショカ財団、ヒューマンライツ・ウオッチ、コモングラウンド、国境なき医師団など世界的に有名な団体が個々人の熱い思いから生まれてきたというルーツやバックグラウンドが垣間見られる良書です。

この書籍は続編のような形で2007年にチェンジメーカーⅡも出ています。残念ながらこの本は当プラザにはありませんが、近々購入を検討しています。

※県立図書館に貸出可能図書として蔵書されていました。
機会があれば足を運ばれてはいかがでしょうか。

なか見!検索

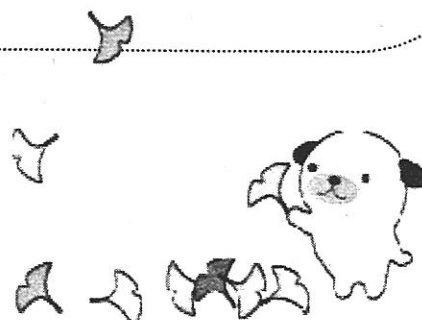


◎プラザ内の本閲覧ご希望の方へご利用案内◎

NPOプラザ（県庁4階県民生活課内）

月～金 8：30～17：30（土日・祝祭日はお休みです）

※12時～13時は昼休憩で消灯しますのでできればご遠慮下さい



助成金情報

<三井物産環境基金>

募集期限：11月3日
 対象：日本国内および海外における地球環境問題の解決に関わる「実践的な活動」対象
 金額：総額3億円

<問い合わせ・申込先>

〒100-0004
 東京都千代田区大手町1-2-1
 三井物産株式会社CSR推進部
 電話：03-3285-3316
 FAX：03-3285-9030



<沖縄県共同募金会>

募集期限：10月31日
 対象：地域で福祉活動を実施している住民団体やボランティアグループの資金助成。
 金額：1団体、1件30万

<お問い合わせ・申込先>

社会福祉法人：沖縄県共同募金会
 〒903-0804
 那覇市首里石嶺4丁目373番地1
 電話：098-882-4353

<長寿・子育て障害者基金 WAM>

募集期限：9月1日～10月31日
 対象：社会福祉の振興に寄与する事業を行う法人又は団体。
 金額：特別分助成→1事業年度500万円上限/地方分助成→1事業年度200万円上限（応募は1団体1事業）
 事業テーマ：以下4つの各テーマ

①長寿社会福祉基金②高齢者障害者基金③子育て支援基金④障害者スポーツ支援基金

<問い合わせ・申込先>

特別分助成：独立行政法人福祉医療機構基金事業部振興課
 電話：03-3438-9946 FAX：03-3438-0218
 地方分助成：各都道府県又は政令都市の社会福祉協議会の各窓口
 HPアドレス：<http://www.wam.go.jp/wam/>



<アジア人権基金草の根イベントサポート支援>

募集期限：11月5日
 対象：アジア人権擁護のために活動している個人またはNGO 講演会及びそれに準ずるイベント開催費用の助成。「テーマ：マイノリティと人権」
 金額：5万円、10万円
 <問い合わせ・申込先>

「草の根イベントサポート支援」係
 FAX：03-5570-5504
 E-mail: desk@fhra.net

<花王・みんなの森づくり>

募集期限：10月31日
 対象：国内で森づくりの活動に取り組んでいる団体
 金額：単年度助成・上限100万円
 3年間継続助成・初年度30万総額100万

<問い合わせ・申込先>

〒102-0082
 東京都千代田区1番町10番地1番町WESTビル5F
 (財)都市緑化基金「花王みんなの森づくり活動助成」
 電話：03-5275-2291

編集後記

まだまだ日中は暑いものの、夜風は涼しくなってきました。
 今月号は、資金造成と社会起業家をキーワードに編集をしました。記事編集中の9月1日には、沖縄県労働金庫の助成金贈呈が行われ、NPO4団体の笑顔の新聞記事が目にとまりました。来年はどの法人の笑顔が見ることができるのか、今からとても楽しみです。

※ばなな通信やプラザに関するご質問、ご意見などありましたら、NPOプラザ（沖縄県庁4F県民生活課内/電話：098-866-2187）までご連絡ください。